

女性職員の採用・登用の目標値と現状値

項目	現状値	成果目標 (期限)
国家公務員採用試験からの採用者に占める女性の割合 (※2)	26.8% (平成25年度)	30%程度 (※1) (平成27年度末)
うちI種(総合職)試験の事務系区分の採用者に占める女性の割合	27.3% (平成25年度)	30%程度 (※1)
国の地方機関課長・本省課長補佐相当職以上に占める女性の割合	5.3% (平成25年1月)	10%程度 (平成27年度末)
国の本省課室長相当職以上に占める女性の割合	3.0% (平成25年10月)	5%程度 (平成27年度末)
国の指定職相当に占める女性の割合	2.2% (平成25年10月)	3%程度 (平成27年度末)

※1 平成27年度の国家公務員の採用については、平成25年11月29日の次官連絡会議及び官房長官記者会見において、採用試験からの採用者に占める女性割合と総合職試験の事務系区分の採用者に占める女性割合を30%以上とすることを目標とし、これを確実に達成することとされている。

※2 平成25年度年次報告書(人事院)によると、平成26年度採用の総合職試験採用(内定)者に占める女性の割合(平成25年10月24日現在)は24.2%であり、そのうち事務系区分の採用(内定)者に占める女性の割合は、29.1%である。